

2019年3月期 第2四半期 決算資料

2018年10月31日

決算のポイント

- ・売上収益は、自然災害による影響があったものの、グローバルな車両生産の増加や拡販、および昨年11月のデンソーテンの子会社化などにより、増収
- ・営業利益は、前期に発生した一過性の収益がなくなったことによる影響や、前期との費用回収タイミングのズレ、将来の成長領域への投資の加速などにより、減益
- ・第2四半期決算の業績及び為替の実績等を踏まえ、通期の営業利益予想を、上方修正
- ・配当金は、中間配当・期末配当ともに5円ずつ増配し、1株あたり140円/年

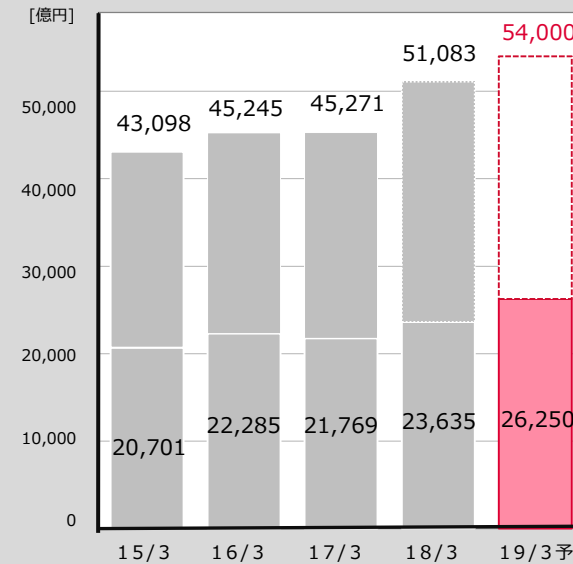
1. 連結決算概要 (IFRS)

科目	18/9期実績		17/9期実績		前年比		19/3期予想		18/6公表比	
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	(100.0) 26,250		(100.0) 23,635		2,615	11.1	(100.0) 54,000	(100.0) 54,000	-	-
営業利益	(5.8) 1,524		(8.7) 2,044		△521	△25.5	(7.2) 3,900	(7.3) 3,930	30	0.8
税引前利益	(6.5) 1,702		(9.6) 2,268		△566	△24.9	(7.9) 4,270	(8.0) 4,300	30	0.7
当期利益(※)	(4.3) 1,141		(6.5) 1,542		△401	△26.0	(5.6) 3,030	(5.6) 3,050	20	0.7
為替レート(US\$)	110円		111円				106円	110円		
為替レート(ユーロ)	130円		126円				130円	130円		
国内車両生産	447万台		454万台				958万台	957万台		
海外日系車両生産	1,023万台		989万台				2,095万台	2,069万台		

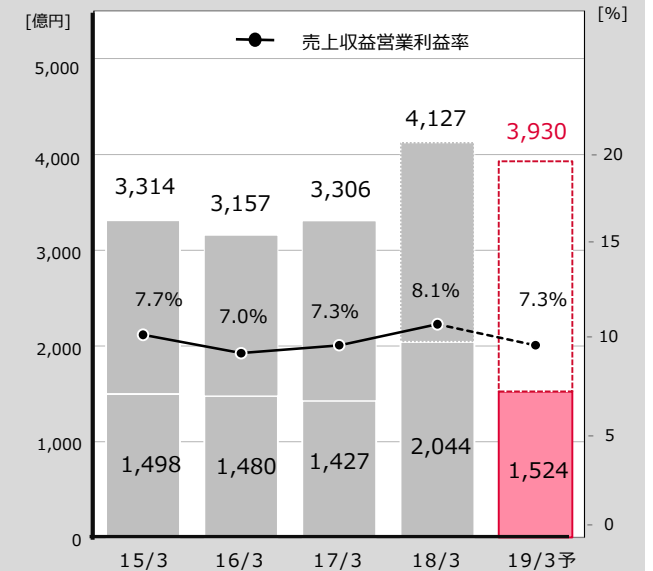
() 内は売上収益比 [単位: 億円、%]

参考

① 売上収益の推移



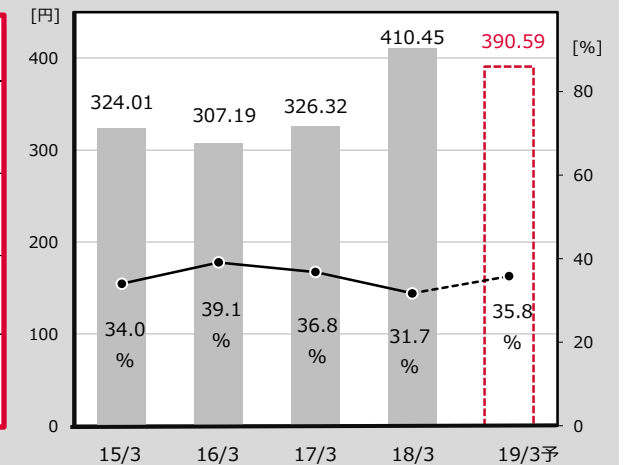
② 営業利益の推移



③ その他財務指標 (連結)

	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期 予想
一株当たり当期利益 (EPS)	324.01 円	307.19 円	326.32 円	410.45 円	390.59 円
一株当たり配当金	110 円	120 円	120 円	130 円	140 円
配当性向	34.0 %	39.1 %	36.8 %	31.7 %	35.8 %
自己資本当期利益率 (ROE)	8.4 %	7.6 %	8.0 %	9.3 %	8.2 %

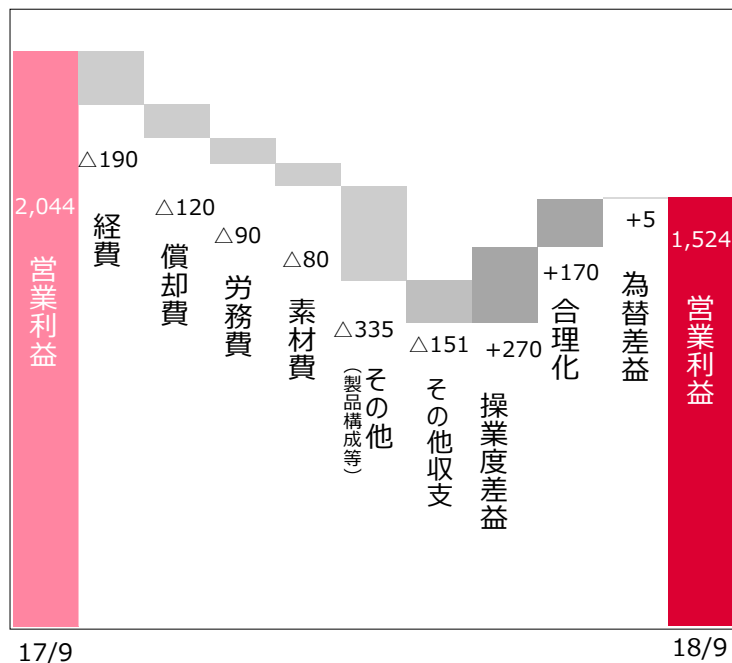
EPS・配当性向の推移



※親会社の所有者に帰属する当期利益

2. 営業利益増減要因 (17/9→18/9)

[単位: 億円]



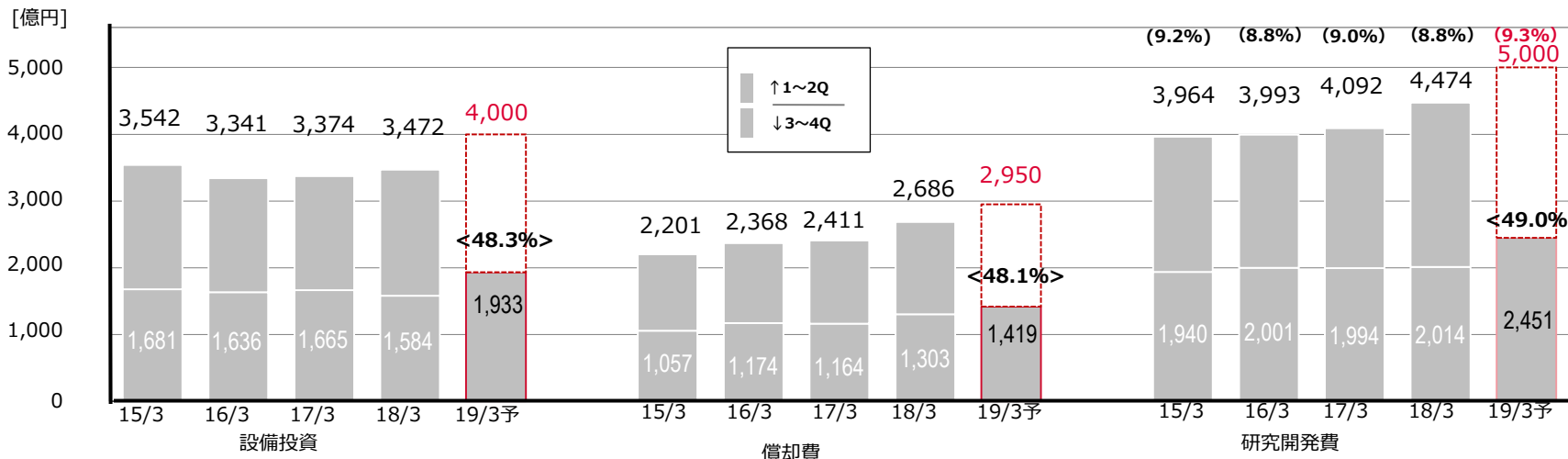
3. 所在地別セグメント情報

[単位: 億円]

セグメント	18/9期実績		17/9期実績		増減率	増減率 (現地通貨)	19/3予想
	利益	利益率	利益	利益率			
売上収益	26,250	-	23,635	-	11.1%	11.3%	54,000
営業利益	1,524	5.8%	2,044	8.7%	△25.5%	△25.1%	3,930
日本	533	3.4%	1,055	7.5%	△49.5%	△49.5%	1,830
北米	155	2.6%	208	3.8%	△25.5%	△23.8%	385
欧州	96	2.9%	89	2.9%	8.0%	6.4%	250
アジア	678	9.4%	628	10.1%	8.0%	6.3%	1,345
その他	55	16.0%	71	17.5%	△21.9%	0.6%	105
消去	6	-	△6	-	-	-	15
連結	1,524	5.8%	2,044	8.7%	△25.5%	△25.1%	3,930

() 売上収益比
< > 19/3予に対する進捗率

4. 設備投資・減価償却費・研究開発費の推移



直近の取り組み事例：サステナビリティ経営 優先取組課題の選定

環境

- 温暖化防止
- 大気汚染防止/環境負荷物質削減
- 資源有効利用
- 水資源の保全

安心

- 安心安全な製品提供 → 自由快適な移動の提供
- 交通事故低減
- 少子高齢化(労働力不足)

企業基盤

- 人材活躍推進 (多様性促進など)
- 働き方改革 他6項目